

自社ブランドで健康機器

健康機器の自社ブランド商品の第1弾として発売する磁気治療器「マグりらつ」



感用パック」を器具にセッティングすると身体を温めることもでき、アロマ剤を染み込ませた綿棒やティッシュを仕込めばアロマセラピー効果も得られるという。商品化に当たり県地域資源製品開発支援センター（松本市）の支援を受けた。

ファミリー・サービス・エイコー

第1弾は磁気治療器

浄水器や医療機器製造などのファミリー・サービス・エイコー（長野市）は7日、健康機器の自社ブランド「Smart health in NAGANO」を立ち上げたと発表した。第1弾として肩凝りなどをほぐす磁気治療器「マグリラツ」を発売する。

これまで、健康器具は主にOEM（相手先ブランドによる生産）で手掛けてきたが、1976年の会社設立から40年を迎えたことを機に、自社ブランドを立ち上げた。

同社によると、マグリラツは、健康器具に14個の磁石を使い、首、腰、腕、足など全身の部位に当てて血行を良くする。

同社は浄水器が主力で、売上高は2017年3月期が約23億円。7日に長野市の県庁で記者会見した深沢育英社長は、健康医療分野に力を入れ

いる。重さは260gに抑えられた。税別価格は6980円。初年3千個の販売目標を掲げている。

銀座の県情報発信拠点「銀座NAGANO」、長野市の小売店で販売し、取扱店は順次増やす方針。持ち運びしやすいように大きさは260gに抑えられた。税別価格は6980円。

同社ホームページや東京・